

平成29年度 園としての自己評価

社会福祉法人隣保の会 清水りんぼかんこども園

園長 角田民子

平成30年2月に実施しました保護者アンケートの結果を基にした、園としての自己評価の結果をご報告いたします。

【アンケートの中で皆様から評価が低かった項目について】

- ・お子様は野菜の栽培など食にかかわる体験をして、食べることを楽しんでますか（問7）

※プランターを使つての栽培、もちつきなど園内で食にかかわる体験をする以外にも、園外に出ると、茶、みかん、ぶどう、だいこん、たまねぎなどたくさんの栽培されている食物をみつけています。お世話をしている地域の方に、野菜や果物を見せていただくことも…このような子ども達の姿を伝えていくことの大切さも感じています。

- ・お子さんは、自分から進んで挨拶をする姿が見られますか（問8）

※挨拶については、年長まつぐみになった時に、自分から進んでできるようになってほしいという願い（ねらい）をもっています。小さな年齢の子ども達からの、目と目が合う、笑顔を見せる、手をふるなど、かわいい姿が挨拶のはじまりとも思います。

【保護者様からいただいた要望について】

- ・誕生会、保育参加会などの行事への乳児参加について

誕生会ですが、0・1歳児はそれぞれのお部屋で、自分の誕生日にお祝いをしています。乳児はいつもの生活、日々の生活を毎日同じように積み重ねることを大切にしたいため、いつもと違う環境となりがちな行事への参加は幼児（2歳児以上）を中心としています。

- ・職員の対応について

- ① 登園時の対応が冷たく感じる時がありました
- ② 先生方同士の申し送り、後からの親への連絡、報告ができていないことがありました
- ③ 園児から目を離していることがあると感じます

保護者様にご心配をかけたり、不快な思いをさせてしまったこととお詫びします。ひとりひとりの職員がこのご意見をしっかりと受けとめて、保護者の皆様から信頼していただけるよう、安心してお子様を預けていただけるように、園内で話し合いをしていき、職員ひとりひとりの、質を高めていきたいと思っております。

これからも、気づいたことがありましたら、いつでもお知らせください。

このように、皆様からのご要望を参考にして、よりよい園となるようにしていきます。

今後ともよろしく願いいたします。